

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年2月9日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	三洋テクノマリン株式会社
所在地	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-3-17
代表者役職・氏名	代表取締役社長 吉川 勝志
担当者連絡先	電話：03-3666-3417 (藤井隆行) メール：fujii@stm.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.stm.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>当社は、1959年(昭和34年)に、三洋水路測量株式会社としてわが国初の水路測量専門会社として設立。以降、海域に特化し測量調査、海底地形・地質調査、海域環境を主業としてきた。1991年(平成3年)に三洋テクノマリン株式会社に社名変更、環境総合コンサルタントとして、港湾分野では全国の港湾に対して調査・計画・解析・設計・維持管理の業務を実施している。</p>


















3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	カーボンニュートラル達成に向けた取組 ・洋上風力やブルーカーボン等 GX 関連業務の受注	・洋上風力やブルーカーボン・ブルーインフラ関連業務の受注率向上 【現状】21% 【目標】30%超
✓環境 ✓社会 □経済	環境イベントへの積極的な参加 ・海洋や港湾環境の改善・保全の意識醸成につながるよう市民や子供たちとコミュニケーションを図る	・東京湾大感謝祭など環境イベントに参画 【目標】1件/年以上
□環境 □社会 □経済		

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、その運用に経営陣が積極的に関与している。 ・管理本部に窓口を設け、社員の要望等を確認している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。 ・管理本部に担当者を配置し、相談窓口を設けている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法等の改正内容を経営陣を含めて共有している。 ・長時間労働是正のための時間管理(管理職へ通知等)、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・所属部長、管理本部との面接等を通じて、確認している。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全衛生委員会を原則月1回開催し、関連情報の周知徹底及び課題点の聴取、議論を行っている。 ・ISO45001を取得し、従業員の安全確保と健康促進をはかっている。				3				8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックの実施、産業医との面談の実施。 ・所属部長へ部下の健康状況を確認し、経営陣を含め共有(3カ月毎)。				3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できるよう、短時間勤務やお子さんの看護休暇制度を取り入れ、環境の整備に取り組んでいる。 ・令和8年2月現在、女性社員、外国籍社員、障がいを持つ社員の雇用は、全体の29%となっている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・専門家による技術研修、職位に応じたコンプライアンス研修等の実施。 ・資格取得費用(受講料、受験講座等)の一部補助。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	-					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・全社員への健康診断、ストレスチェック受診を推進しており、高ストレス者を中心に、産業医による面談を実施。 ・インフルエンザ予防接種の補助金支給を実施。				3				8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・ペットボトル含めた廃棄物の分別回収、ペットボトルキャップ回収運動、使用済み切手の植林支援団体への寄付。 ・ISO14001の要求事項に基づき、適切に管理を行っている。										11.6	12.4 12.5	14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・自社のサプライチェーン排出量(燃料・電気使用量)を把握し、排出量削減を推進している。(2024年のGHG総排出量は2,807.2t-CO2)							7.3					13					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・自社のサプライチェーン排出量(燃料・電気使用量)を把握し、排出量削減を推進している。(2024年のGHG総排出量は2,807.2t-CO2)							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・ISO14001の要求事項に基づき、適切に管理を行っている。			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・「自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)フォーラム」へ参画し、生物多様性に関わる企業の情報開示をサポートしている。						6.6							15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	-						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14000の認証を取得し、環境負荷低減と環境保護に取り組んでいる。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ISO14001の要求事項に基づき、適切に管理を行っている。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	-							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	-											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	-			3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001の認証を取得し、品質向上を推進している。															9		
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・マイクロプラスチック分析、環境DNA解析等の環境指標測定に係る自社技術開発に取り組んでいる。							6					12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・経営計画の長期ビジョンに、「経済成長と環境保護の両立」を掲げ、カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー関連業務や循環型社会形成に向けた海域関連業務を通じて、持続可能な社会形成の一助となるよう取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・海域調査において、船舶の燃料等油の流出により地域に与える影響が無いように油吸着マットを常に携行し地域への配慮と対策を行っている。 ・ISO14001の要求事項に基づき適切に対応している。				4						9		11	12		14	15	17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・環境教育の実施、砂浜の清掃活動等に取り組んでいる。				4								11			14	15	17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	-									8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・弊社の経営理念、長期ビジョン(目指す姿)は、SDGs達成に向けた内容であり、社内で共有している。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・経営計画の方針に位置づけ、コンプライアンス規定を策定し、研修等を通じて法令遵守の徹底を進めている。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・責任者を明確にして体制を管理している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	-															16	17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・ISO14001およびISO45001の統合マネジメントシステムを構築し、適切に運用を行っている。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・経営理念に則り、社会に信頼される企業を目指し取り組んでいる。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・緊急時事業継続マニュアルを作成し(最新版:2025.12.26付)、全社で共有している。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・経営計画に、「世代交代促進」を明記し、技術マニュアルの整備・改訂、社内講習会の定期開催により、事業継承を推進している。									8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。